

「環境かるた」食品ロスver. を用いた出前授業

事業責任者：安全衛生・環境管理統括室 環境企画コーディネーター 小野 孝志
作成：小城戸 愉子（代表）、栗山 結衣

■「えこふる」とは？

始まり：2019年度に環境学入門講座を受講した学生有志が設立

設立目的：神戸大生や地域の人々の環境意識を高め、日常生活の中でもできることから始めてもらうこと

今年度の活動：かるたを使った児童館での食品ロスについての出前授業の実施

■環境かるたを用いた出前授業

対象：小学校1～6年生

内容：①食品ロスに関する話

②食品にまつわる自作の環境かるた

目的：遊びながらも、食べ物を大切にすること

とや環境保全の重要性に気づいてもらう



今年度の出前授業実施場所：東灘区の各児童館

1. 神戸市立本庄児童館（R5年10月21日）

2. 住之江児童館（R6年1月20日）



工夫点：子ども目線の内容での双方向的な授業にすること

→イラストや写真、クイズを交えた構成

近所でフードドライブを実施している店舗の紹介

反省点：①終始、子ども達が集中し、楽しんで学べる

授業作りをすること

②地球温暖化などの複雑な内容をどこまで取り入れるべきか

③学年によってかるたの取りやすさに差が出ないようにすること



子ども達の感想の抜粋 @本庄児童館

「きょうはたのしかったです。またきてください。」

（1・2年生）

「これから、きゅうしょくをなるべくのこさないようにしたいと思いました」（3年生）

「色々なことをおしえてくれてわかりやすかったし、フードドライブの場所をおしえてくれて良かったです。」

（4年生）

